

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3911179号

(P3911179)

(45) 発行日 平成19年5月9日(2007.5.9)

(24) 登録日 平成19年2月2日(2007.2.2)

(51) Int. Cl.

F I

B 6 5 D 25/20 (2006.01)

B 6 5 D 25/20

Q

B 6 5 D 6/18 (2006.01)

B 6 5 D 25/20

P

B 6 5 D 6/18

C

請求項の数 1 (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2002-79546 (P2002-79546)
 (22) 出願日 平成14年3月20日 (2002.3.20)
 (65) 公開番号 特開2003-276736 (P2003-276736A)
 (43) 公開日 平成15年10月2日 (2003.10.2)
 審査請求日 平成16年7月27日 (2004.7.27)

(73) 特許権者 591006944
 三甲株式会社
 岐阜県瑞穂市本田474番地の1
 (74) 代理人 100112531
 弁理士 伊藤 浩二
 (72) 発明者 田代 範威
 岐阜県本巣郡穂積町大字本田474番地の
 1 三甲株式会社内

審査官 渡邊 真

(56) 参考文献 特開平07-206001 (JP, A)
 特開昭59-115248 (JP, A)
 実開平02-141360 (JP, U)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 カード取付構造

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンテナに被せられる蓋体の上面に四角形状に凹窪した浅い陥没部を形成し、該陥没部を構成する三辺の側壁にそれぞれ係合口を開設し、該陥没部の他の一边は傾斜面状のスライド壁に形成するとともに、弾性プラスチックからなるカードホルダを該陥没部内に収められる四角枠状に形成し、該カードホルダの外側縁に前記係合口に係合し得る突片をそれぞれ一体に形成し、該カードホルダの他の一边には前記スライド壁と隙間を介して相対することでカード差込口が形成されるポケット縁部を形成し、該ポケット縁部の内面にはカードの抜脱を防ぐ楔状の爪片を一体に形成してなることを特徴としたプラスチック製蓋付きコンテナのカード取付構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、プラスチック製の蓋付きコンテナにバーコード、品番等が印刷されたカードを取り付けるためのカード取付構造に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

バーコード、品番、品名等が印刷されたカードをコンテナに貼り付けて表示するために従来から種々の構成のカード取付具(カード差し)が実用化されている。

【0003】

ところで、従来のカード取付具は、コンテナの側面に取り付けられるものであったために、コンベア自動搬送ライン上でも側面からの読み取りが可能なるようにコンベアの一側に読取機を設置する必要があることから、設置スペースとしてコンベアの一側を広く占有してしまうという問題があった。

【 0 0 0 4 】

【 発明が解決しようとする課題 】

そこで本発明は、コンテナの上面でもカードが支障無く取り付けられるようにし、上記問題点を解消しようとするものである。

【 0 0 0 5 】

【 課題を解決するための手段 】

そのために本発明のカード取付構造は、コンテナに被せられる蓋体の上面に四角形状に凹窪した浅い陥没部を形成し、該陥没部を構成する三辺の側壁にそれぞれ係合口を開設し、該陥没部の他の一边は傾斜面状のスライド壁に形成するとともに、弾性プラスチックからなるカードホルダを該陥没部内に収められる四角枠状に形成し、該カードホルダの外側縁に前記係合口に係合し得る突片をそれぞれ一体に形成し、該カードホルダの他の一边には前記スライド壁と隙間を介して相対することでカード差込口が形成されるポケット縁部を形成し、該ポケット縁部の内面にはカードの抜脱を防ぐ楔状の爪片を一体に形成してなることを特徴とする。

【 0 0 0 6 】

【 発明の実施の形態 】

次に図面に従い本発明の実施の形態を説明する。図 1 は本発明に係るプラスチック製の蓋付きコンテナの斜視図、図 2 はそのカード取付部の拡大斜視図、図 3 はその分解斜視図である。この実施形態は、四側板が底板上に倒れることで折り畳み可能に構成されたコンテナを示し、1 a , 1 b は該コンテナの両長側板の上端縁に開閉可能にヒンジされた一对の板状の蓋体である。その一方の蓋体 1 a は、図 4 に A - A 線断面図、図 5 に B - B 線断面図を示したように、上面に四角形状に凹窪した浅い陥没部 2 を形成する。なお、該陥没部 2 を構成する三辺の側壁 3 , 4 , 5 は垂直起立状に形成し、他の一边は傾斜面状のスライド壁 6 に形成する。そして、側壁 3 に所定間隔を置いてスリット状の係合口 7 a , 7 b を開設し、側壁 4 に所定間隔を置いてスリット状の係合口 8 a , 8 b を開設し、側壁 5 にはスリット状の係合口 9 を開設する。

【 0 0 0 7 】

1 0 は陥没部 2 内に収められるよう四角枠状に形成された弾性プラスチックからなるカードホルダで、該カードホルダの外側縁に前記係合口 7 a , 7 b , 8 a , 8 b , 9 に係合し得る突片 1 1 a , 1 1 b , 1 2 a , 1 2 b , 1 3 を一体に形成している。また該カードホルダの他の一边には前記スライド壁 6 と隙間を介して相対することでカード差込口 1 4 を形成するポケット縁部 1 5 を形成している。そして、図 6 に示したように該ポケット縁部の内面にはカード 1 7 の抜脱を防ぐ楔状の爪片 1 6 を一体に形成している。

【 0 0 0 8 】

このカード取付構造では、カードホルダ 1 0 を弾性変形させて突片 1 1 a , 1 1 b , 1 2 a , 1 2 b , 1 3 を夫々係合口 7 a , 7 b , 8 a , 8 b , 9 に係合させることで陥没部 2 内に収められ、バーコード、品番等が印刷されたカード 1 7 をスライド壁 6 に沿ってカード差込口 1 4 に滑り込ませることで該カード 1 7 を該コンテナの上面に向けて表示できる。そのとき、爪片 1 6 は該カード 1 7 の抜脱を防ぐ。なお、カード 1 7 を取り替えようとする場合は、カード 1 7 の一边を指で押さえてスライドさせれば簡単に抜き差しすることができる。

【 0 0 0 9 】

また、カードホルダ 1 0 は飛び出ることなく陥没部 2 内に収まることから、略々面一にでき、段積み時等の邪魔になることなく、カードホルダを離脱させるおそれもない。そして、コンテナの上方からの視認性が向上するので、読取機をコンベヤラインの真上に設ければ少ない取付スペースにて設置することが可能となる。なお、このカード取付構造は上記

10

20

30

40

50

のように蓋体の上面のほか、コンテナの側面に設けることもできる。

【 0 0 1 0 】

【 発明の効果 】

このように本発明のカード取付構造は、コンテナに被せられる蓋体の上面に四角形状に凹窪した浅い陥没部を形成するとともに、四角枠状に形成したカードホルダを該陥没部内に固着してなるので、コンテナの上面でもカードが支障無く取り付けられ、バーコード等の読取機での読み込みが容易になる。しかもカードの差し替えも容易にできるので、通い箱としての使い勝手が向上するなど有益な効果がある。

【 図面の簡単な説明 】

【 図 1 】 本発明に係るカード取付構造の実施形態を示す蓋付きコンテナの斜視図。

10

【 図 2 】 図 1 のコンテナのカード取付部の拡大斜視図。

【 図 3 】 図 2 のカード取付部の分解斜視図。

【 図 4 】 図 2 の A - A 線断面図。

【 図 5 】 図 2 の B - B 線断面図。

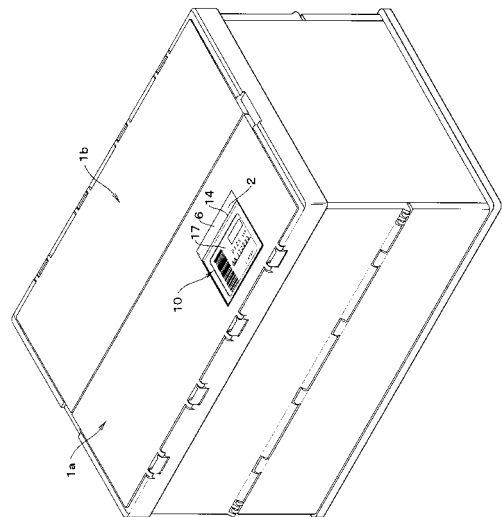
【 図 6 】 図 2 に示したカードホルダの裏面の斜視図。

【 符号の説明 】

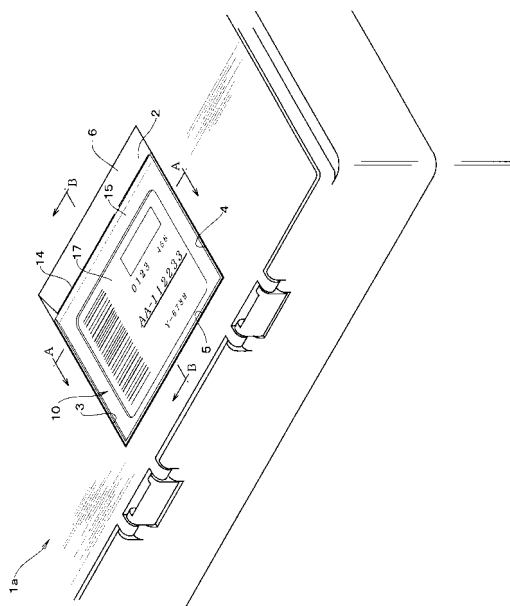
1 a , 1 b	蓋体
2	陥没部
3 , 4 , 5	側壁
6	スライド壁
7 a , 7 b , 8 a , 8 b , 9	係合口
1 0	カードホルダ
1 1 a , 1 1 b , 1 2 a , 1 2 b , 1 3	突片
1 4	カード差込口
1 5	ポケット縁部
1 6	爪片

20

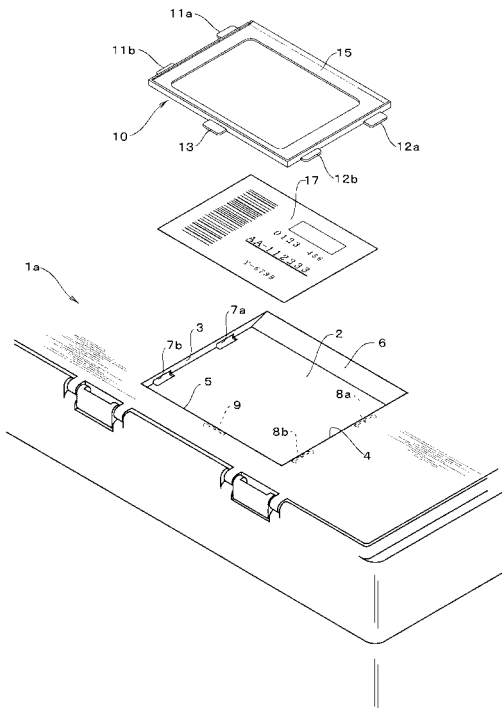
【図 1】



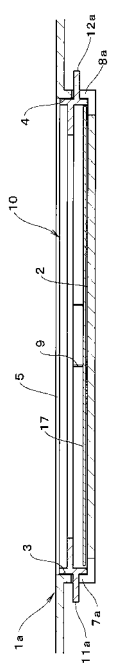
【図 2】



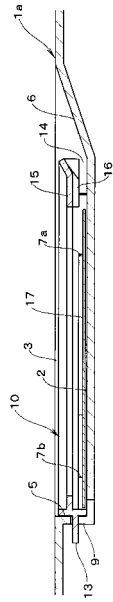
【図 3】



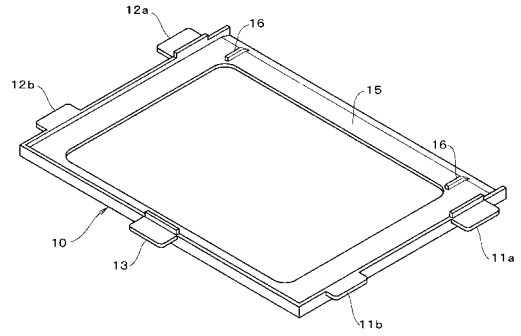
【図 4】



【図 5】



【図 6】



フロントページの続き

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)

B65D 25/00-25/56

B65D 6/18

G09F 1/10